



就学前の教育は、生活や遊びを通して、人とかかわる力や思考力、感性や表現する力などを育み、人間として、社会とかかわる人として生きていくための基礎を培うことを大切にしています。

## 就学前

### 就学前の子どもたちが身に付けていくことが望まれること

**例えば** ・ ・ 幼児期は、遊びを通して多様な経験を積み重ねることにより、小学校以降の生活や学習の基盤が育成されます。多様な経験にはいろいろなものが考えられますが、その一例として次のようなものがあります。

#### ■【健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだす】

◇明るく伸び伸びと行動するために

- ・ いろいろな活動を心ゆくまで楽しみ、充実感や満足感を味わう経験
- ・ 体を十分に動かす楽しさや心地よさを感じる経験

◇社会生活における必要な習慣や態度を身に付けるために

- ・ 健康な生活のリズムを身に付ける
- ・ 親しみをもって日常のあいさつをする
- ・ 身の回りの清潔、衣服の着脱や食事、排泄など、場面に応じて対応できるようにする
- ・ 社会的規範やルールがわかり、自分でルールを守る大切さに気付く



#### ■【他の人と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て人とかかわる】

◇身近な人と親しみかかわりを深めるために

- ・ 友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう経験

◇友達と楽しく活動する中で共通の目的を見出し、工夫したり協力したりするようになるために

- ・ 友達と触れ合い、いざこざや葛藤も経験しながらそれを乗り越える経験
- ・ 自分なりのイメージや考えをもって活動する中で、共通の願いや目的をもった活動を実現する経験

◇高齢者をはじめ地域の人々など、自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつために

- ・ 地域の高齢者を園に招き、昔遊びを教えてもらい生活発表会などを一緒に楽しむ経験
- ・ 地域の行事に参加する

#### ■【周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れる】

◇自分で考えて行動するために

- ・ 自分の力を十分発揮する中で、自分なりにめあてをもって活動し、思いが実現する経験
- ・ うまくいかなくても自分なりに頑張ろうとする経験

◇考えたり、試したりして工夫して遊ぶために

- ・ 好奇心をもっていろいろなことにかかわり、新たな発見をしたり、どうすればおもしろくなるかを考えたりする経験
- ・ 工夫したり発見したりしたことを、違う場面でも活用しようとする経験

#### ■【経験したことや考えたことを自分なりの言葉で表現し、相手の話を聞いたり話したりする】

◇自分の気持ちを言葉で表現するために

- ・ したいこと、して欲しいことなどを言葉で伝えたり、分からないことを尋ねたりする

◇よく話を聞き、自分が経験したことを話し、伝え合うために

- ・ 相手に自分の思いを伝えるだけでなく、保育者や友達の話を聞き、その思いに共感したり自分のこととして受けとめたりする経験

#### ■【感じたことや考えたことを自分なりに表現する】

◇感じたことや考えたことを自分なりに表現するために

- ・ 感じたことや考えたことを自分なりにいろいろな方法で表現して充実感を味わう経験



小学校段階でのキャリア教育は、学校の授業や係活動などを通じて、自分のことや身の回りの仕事への関心を持ち、夢や憧れ等、未来の自己イメージを抱きながら、目標に向かって努力する態度を育てることが大切です。

発達段階に応じた体系的キャリア教育（実践事例）

	低学年	中学年	高学年
学力向上	各教科・科目の学習を将来の生活と結び付ける教育の実践		
	<p>【各教科】【特別活動】【日常生活】</p> <p>【例え】</p> <p>【生活科】</p> <p>「学校たんけん」「お手伝い大作戦」「げんきにそだてーぼく・わたしのやさい」</p> <p>【その他の教科】</p> <p>グループ活動など協同的な学習活動を通して社会性を培う。好きなことを見付け、一生懸命取り組む姿勢を育む。など</p>	<p>【各教科】【総合的な学習の時間】【特別活動】【日常生活】</p> <p>【例え】</p> <p>各教科での学習が、日常生活や将来の生き方と関連していることに気付かせる機会を積極的に設け、学ぶ意欲につなげる。</p> <p>【社会】「まちたんけん」「昔の暮らし」「工場・お店の見学や調査」「消防署や警察で働く人たち」「水道」</p> <p>【体育】「大きくなってきたわたしの体」</p> <p>【国語】「私の研究レポート」 など</p>	<p>【各教科】【外国語活動】【総合的な学習の時間】【特別活動】</p> <p>【日常生活】</p> <p>【例え】</p> <p>各教科での学習が生活や職業と関連することの理解を深め、互いに学び合い高め合える態度を育てる。</p> <p>【理科】「電気の働きを利用した道具が生活を支えていることを理解する」</p> <p>【国語】新聞等を活用し、「自分の考えを提案する意見文を書こう」 など</p>
基本的な生活習慣の確立	社会の一員として通用する人づくり教育の実践		
	<p>【例え】</p> <p>◇小学校生活に適応するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返事やあいさつをする。</li> <li>・係や当番活動の仕事に取り組み、その大切さが分かる。</li> <li>・ありがとうやごめんなさいが言える。</li> </ul> <p>◇身の回りの事象への関心を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の気持ちを考える。</li> <li>・身近で働く人の気持ちが分かり、興味・関心をもつ。</li> </ul> <p>◇自分の好きなことを見付けて、のびのびと活動するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよいところを見付け、自信をもつ。</li> <li>・みんな仲良く学習したり遊んだりする。など</li> </ul>	<p>【例え】</p> <p>◇友達と協力して活動する中でかわりを深めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと協力して学習や活動に取り組む。</li> <li>・働くことの楽しさが分かる。</li> </ul> <p>◇自分の持ち味を発揮し役割を自覚するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよいところを見付ける。</li> <li>・いろいろな職業や生き方があることが分かる。</li> <li>・係や当番活動に積極的にかかわる。</li> <li>・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。</li> <li>・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。など</li> </ul>	<p>【例え】</p> <p>◇自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や委員会活動、異学年集団での活動などで中心となって活動する。</li> </ul> <p>◇集団の中で自己を生かすために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、集団内の様々な人々と適切にコミュニケーションをとり協力し合って活動する。</li> </ul> <p>◇社会と自己のかかわりから、自ら夢や希望をふくらませるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携による特別活動など、中学生と共に活動することにより、中学校生活への不安を取り除き、期待をふくらませる。など</li> </ul>
社会性の育成	一人一人の社会的・職業的自立に向けた能力を育てる教育の実践（事前・事後指導の充実）		
	<p>○自己及び他者への積極的関心の形成・発展</p> <p>【例え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の探索 など</li> </ul> 	<p>○身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上</p> <p>【例え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や身近な人の仕事調べ・見学など</li> </ul> 	<p>○夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成</p> <p>【例え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街でのインタビュー、職場見学</li> <li>・中学校の体験入学 など</li> </ul> 



中学校段階でのキャリア教育は、授業や体験活動を通して自己理解を深めるとともに、様々な職業を知り、働くことの意義について考察するなど、自分の進路への興味・関心を高めるために多様な機会を設けることが大切です。

### 発達段階に応じた体系的キャリア教育（実践事例）

	1 学年	2 学年	3 学年
	各教科・科目の学習を将来の生活と結び付ける教育の実践		
学力向上	<p>【国語】相手の反応を踏まえながら、分かりやすく発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等を活用し、社会で起きている「気になるニュースを発表しよう」</li> </ul> <p>【総合的な学習の時間】自己の在り方やよりよい生き方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの未来へ」 など</li> </ul>	<p>【数学】数学を利用し未来を予測する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一次関数」</li> </ul> <p>【理科】（第一分野）日常生活や将来とのかかわりの中で理科を学ぶ意義を実感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「電流とその利用」 など</li> </ul>	<p>【社会】日常生活と経済との関係を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと経済」</li> </ul> <p>【音楽】ともに認め合い、学び合いながら自分たちの合唱をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「想いを伝える合唱づくり」 など</li> </ul>
	社会の一員として通用する人づくり教育の実践		
基本的な生活習慣の確立	<p>◇自分の良さや個性が分かるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動などを通し、中学校生活に適應できる環境や個性を知る。</li> </ul> <p>◇自己と他者の違いに気付き、尊重しようとするために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科などでの学習を中心としながら、家庭学習の習慣を身に付ける。</li> </ul> <p>◇集団の一員としての役割を理解し、果たそうとするために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活リズムを身に付ける。</li> </ul> <p>◇将来に対する大まかな夢やあこがれを抱くために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業調べなどを通し、将来の生き方に興味をもつ。 など</li> </ul>	<p>◇自分の言動が、他者に及ぼす影響について理解するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して、自分と他者の気持ちを考えられる豊かな心を育む。</li> </ul> <p>◇社会の一員としての自覚が芽生えるとともに、社会や大人を客観的にとらえるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験やボランティア活動などを通し、勤労の意義や働く人々の思いを理解しながら、規範意識を身に付ける。</li> </ul> <p>◇将来の夢を達成する上での現実の問題に直面し、模索するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路計画などを通し、見通しをもつ。 など</li> </ul>	<p>◇自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択に備え、今までの諸活動で得たことを学習や生活に生かす。</li> </ul> <p>◇社会の一員としての義務と責任を理解するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通し、自分らしい生き方について考える。</li> </ul> <p>◇将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服する努力に向かうために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人からの意見を参考に、進路計画を立て、目標実現への努力を行う。 など</li> </ul>
	一人一人の社会的・職業的自立に向けた能力を育てる教育の実践（事前・事後指導の充実）		
	肯定的自己理解と自己有用感の獲得	興味・関心などに基づく勤労感・職業感の形成、進路計画の立案と暫定的選択	生き方や進路に関する現実的探索
社会性の育成	<p>【例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や身近な人の職業聞き取り調査</li> <li>・子ども参観日（家族や身近な人の仕事調べ）</li> </ul> <p>&lt;進路探索を始めよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「将来の夢をもとう」</li> <li>「二者・三者面談」</li> <li>「様々な職業を知ろう」</li> <li>「働く人々にインタビューをしよう」</li> <li>「調べたことを発表しよう」 など</li> </ul>	<p>【例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続した5日間の職場体験</li> </ul> <p>&lt;進路計画を立てよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「関心のある職業を調べよう」</li> <li>「職場体験から学ぼう」</li> <li>「自分の将来について具体的に考えよう」</li> <li>「二者・三者面談」</li> <li>「学んだことを発表しよう」</li> <li>「上級学校を調べよう」 など</li> </ul>	<p>【例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の人と行動をともにするジョブシャドウイング</li> <li>・上級学校体験入学</li> </ul> <p>&lt;進路選択をしよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「卒業後の進路について考えよう」</li> <li>「進路を決定しよう」</li> <li>「進路相談（二者・三者面談）」</li> <li>「進路説明会（上級学校、事業所）」</li> <li>「上級学校授業体験」 など</li> </ul>
			



高等学校段階では授業や特別活動及び様々な体験活動を通し、自ら考え、主体的に判断し、行動する力、具体的な将来設計を行う力、進路実現に向かって努力する態度など、社会で自立するための力を育成することが大切です。

発達段階に応じた体系的キャリア教育（実践事例）

		1 学年	2 学年	3 学年
		各教科・科目の学習を将来の生活と結び付ける教育の実践		
学力向上		<p><b>例えば 【繋ぎと定着】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇中学校段階までの基礎学力をしっかりと定着させ、新たな学びに対する準備をしっかりと行う。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇教科・科目の学習内容と将来の進路を関連付ける授業づくりを行う。</li> <li>◇コース選択や科目選択のガイダンスをしっかりと行う。</li> <li>◇新聞等の資料から情報を読み取り、その背景や課題を考察する。 など</li> </ul>	<p><b>例えば 【自発的学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇将来設計を立案し、今、取り組むべき学習や諸活動を理解し実行に移す。</li> <li>◇オープンキャンパスなどに参加し、将来の目標を具体的にもち、学習意欲を高める。</li> <li>◇地域の諸課題の解決に向けてグループで解決案を作成し、その案を実践したり、関係機関に提案したりしてみ、その成果と課題を検証する。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇教師による計画的・継続的な学習指導や面接指導を行う。 など</li> </ul>	<p><b>例えば 【発展的学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇進路実現に向けた学習への取り組みをより深く実践する。</li> <li>◇自分の考えを小論文にまとめたり、発表したりするなど社会で必要なスキルを身に付ける。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇高度検定資格への挑戦や資格取得にチャレンジする。 など</li> </ul>
	基本的な生活習慣の確立		<p><b>例えば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇遅刻をしない、服装違反をしないなど基本的な学校のルールを守る。</li> <li>◇清掃活動をしっかりと行い、落ち着いた学校生活ができる環境づくりに心がける。 など</li> </ul>	<p><b>例えば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇全ての学校生活に、はじめをもって臨み、集中して授業に取り組む。</li> <li>◇他者の価値観や個性を肯定的に認め受容する態度を養う。 など</li> </ul>
一人一人の社会的・職業的自立に向けた能力を育てる教育の実践（事前・事後指導の充実）				
社会性の育成		自己理解の深化と自己受容	選択基準としての勤労観・職業観の確立	将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加
		<p><b>例えば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇様々な情報を収集し進路選択の幅を拡げる。</li> <li>◇新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する。</li> <li>◇学習活動を通して自己の能力適性を理解する。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇社会を知るため職業・上級学校のガイダンスの実施。</li> <li>◇客観的な自己分析を行い自己理解に努める。 など</li> </ul>	<p><b>例えば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇自己の職業的な能力適性を理解し将来設計を図る。</li> <li>◇進路実現に向けた課題を理解し、検討する。</li> <li>◇学習活動を通して勤労観・職業観を身に付ける。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇インターンシップ、デュアルシステムやボランティアへの参加。</li> <li>◇教師による計画的・継続的なキャリアカウンセリングの実施。 など</li> </ul>	<p><b>例えば</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇自己の能力適性を的確に判断し、卒業後の進路選択について具体的な目標と課題を定め実行に移す。</li> <li>◇進路決定後には、社会での生活に向けた準備を前向きに進める。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇理想と現実の葛藤経験を通して、困難を克服するスキルを身に付ける。</li> <li>◇生徒のミスマッチを防ぐため、将来について生徒と教員と一緒に考えていくカウンセリングの実施。 など</li> </ul>
	 <p>(社会を知ることを目的とした職業人による講話)</p>	 <p>(学習成果、将来設計、職業適性を確かめるためのインターンシップ)</p>	 <p>(進路実現に向けたスキルアップ講習会)</p>	